

# 水戸市議会報

令和2年

3月定例会

No.231

2020年5月1日号

## 中核市移行に伴う条例制定など 79議案を可決

- 定例会あらし ..... 2
- 可決した議案 ..... 3
- 代表質問 ..... 4～6
- 議案質疑及び一般質問 ..... 7～10
- 常任委員会報告 ..... 12, 13
- 令和2年度予算 ..... 14, 15



中核市移行により4月に開設した市保健所(笠原町)。旧保健センターの取組等に加え、これまで県が担ってきた感染症対策や食品衛生、環境衛生などの保健衛生サービスを一体化し、総合的に実施する。(写真左は休日夜間緊急診療所)



## 令和2年度を迎えて

議長

安藏 栄

副議長

黒木 勇



国内外で新型コロナウイルス感染症が広まる中、市では対策本部を設置し、イベントの中止・自粛等、拡大防止に努めております。議会としましては、執行部との連携を密にし、市民生活を守るための取組の強化に努めてまいります。

令和2年第1回定例会では、市政運営の基本方針を定める当初予算や中核市移行に伴う関係条例等、79件の議案について、慎重に審議し、議決いたしました。

本市は、4月に県内初となる中核市に移行しました。保健衛生や民生、環境保全などの幅広い分野において権限が強化されることから、更なる行政運営の向上が期待されております。

議会におきましても、市民の皆様からのご意見を踏まえながら執行部と真摯に議論を行い、中核市にふさわしい意思決定機関として、更なる市政発展と市民福祉の向上に取り組み所存でございます。

今後とも、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 定例会あらまし

### 会期

3月9日から26日までの18日間

### 議員質問

- ・代表質問6名
- ・(4~6ページ参照)
- ・議案質疑及び一般質問16名
- ・(7~10ページ参照)

### 委員会付託議案審査

- (1)各常任委員会における市長提出の付託議案の審査
- (2)各常任委員会の委員長による委員会審査の経過並びに結果の報告
- (3)討論 反対2名  
賛成1名
- (4)採決の結果、いずれも原案のとおり可決、承認

### 人事案件

- ・市長追加提出の人事案件4件をいずれも同意
- (3ページ参照)

### 意見書

- ・議員提出の意見書2件を可決
- (11ページ参照)

### 請願・陳情

- (1)陳情の閉会中継続審査の申し出を承認
- (2)請願の閉会中継続審査を決定

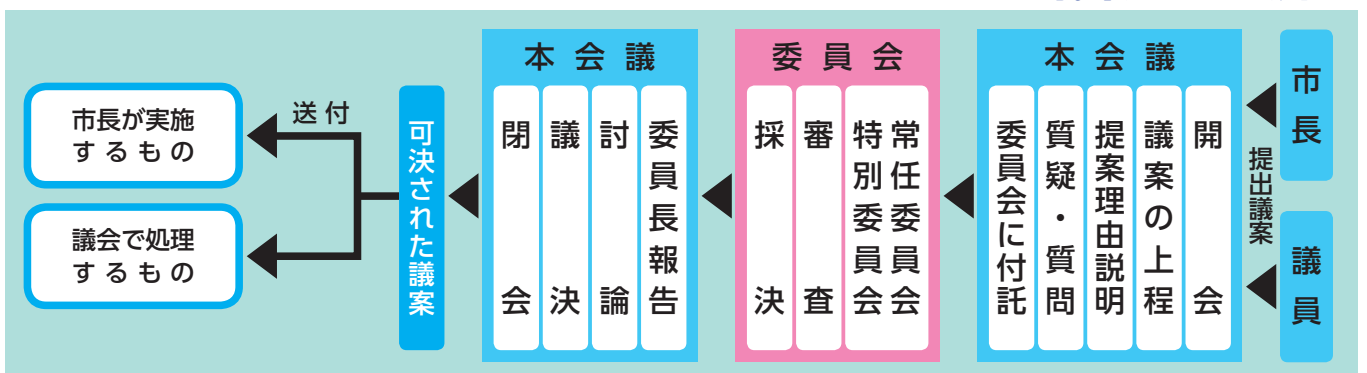
### 閉会中所管事務調査

- ・各常任委員会等からの閉会中所管事務調査の申し出を承認



本会議の様子

## 議案審査の流れ



市長提出議案	
令和2年度予算	13件
令和元年度補正予算	8件
条例の制定・改正・廃止	49件
その他	9件
計	79件

今定例会で可決した議案から主なものを紹介します。

## 令和2年度予算

### 〔一般会計〕

1217億600万円

### 〔特別会計〕

532億9080万円

### 〔公営企業会計〕

289億3430万円

### ◆予算総額

2039億3110万円  
(14、15ページ参照)

## 公の施設の広域利用に関する協議

広域利用に供する施設の追加に伴い、協定の見直しを行うため、議会の議決を求めるもの。

## 中核市移行に伴う条例

中核市移行に伴い、各種施設やサービス等の基準を定めるため、保健衛生、民生、文教の分野において、新たに28件の条例を制定するもの。

## 園芸指導センター条例の廃止

農業技術センターの廃止に伴い、条例を廃止するもの。

## 手数料条例の一部改正

中核市移行に伴い、県から移譲を受ける事務の手数料の新設等を行うもの。

## 特別会計条例の一部改正

中核市移行に伴い、母子父子寡婦福祉資金会計を新設するとともに、東前第四土地地区画整理事業会計を廃止するもの。

## 印鑑条例の一部改正

成年被後見人による印鑑登録を可能とするため、規定の整備を行うもの。

## 医療福祉費支給に関する条例の一部改正

子育て世帯の負担軽減を図るため、外来に係る医療費助成の対象を18歳まで拡充するもの。

## 廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部改正

大洗、鉾田、水戸環境組合のごみの共同処理から脱退及び笠間・水戸環境組合の解散に伴い、規定の整備を行うもの。

## 市街化調整区域に係る開発行為の許可基準に関する条例の一部改正

市街化調整区域における専用住宅の建築に係る開発行為の許可基準等を見直すため、規定の整備を行うもの。

## 市立小学校、中学校、義務教育学校及び幼稚園設置条例の一部改正

五軒幼稚園を廃止するため、規定の整備を行うもの。

## 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

国の基準の改正に伴い、副食費の徴収等に係る規定を追加するもの。

## 公設地方卸売市場条例の一部改正

卸売市場法の改正に伴う規定の整備とともに、仲卸業者及び買受人に係る市場使用料の改定等を行うもの。

## 学校施設整備基金条例

学校施設の整備に要する資金を積み立てるため、新たに基金を設置するもの。

## 工事委託協定の締結

内原駅南北自由通路整備について、協定を締結するもの。

## 土地地区画整理事業施行条例の一部改正

東前第四土地地区画整理事業の完了等に伴い、規定の整備を行うもの。

## 土地の取得

内原町に新たに整備する雨水調整池の用地を取得するもの。

## 令和元年度補正予算

### 〔一般会計〕

◆補正総額 32億3637万円増

### 主な事業

- ・ 泉町1丁目北地区市街地再開発事業に係る組合への補助負担金の増額
- ・ 児童生徒用パソコン1人1台体制に向けた小中学校の校内通信ネットワークの整備
- ・ 五軒小学校のトイレ洋式化工事
- ・ 上大野小学校、吉田小学校及び酒門小学校の長寿命化改良事業
- ・ アダストリアみとアリーナの大規模映像装置の設置

## 人事

- 水戸市副市長 秋葉 宗志(再任)
- 人権擁護委員候補者
- 本多 美知子(再推薦)
  - 谷 萩 百合子(再推薦)
  - 野村 貴 広(再推薦)

新生水改改革水戸



重要な都市公園である

大塚池の水質浄化策は

**Q** 大塚池公園は、その豊かな自然と水辺空間から茨城百景にも選ばれている景勝地である。近年、宅地開発等に伴う都市化進行により水田等の水源涵養地が縮小し、池への流入水量が減少したことで、アオコが発生するなど水質悪化が問題となっている。水環境の改善が強く求められており、地域とともに市と協議を重ねた結果、井戸設置が予算化されたところである。そこで、予算の執行状況や水質浄化への取組、公園機能の充実に向けた整備の展望を伺いたい。

**A** 現在、井戸の整備を進めており、3月中旬に完成予定である。また、公園周辺の道路改良工事において、道路の雨水を流入させる整備を行っている。令和2年度は、井戸や道路整備による流入効果を確認しながら、水質浄化の取組の充実に向け、さらに事業の進捗を図る。

自然環境に恵まれた

成就院池公園の再整備は

**Q** 成就院池は、8月のサギ草祭りで多くのかたが訪れ、また、地域の憩いの場でもあり、大塚地域の至

宝として長年親しまれてきた。平成5年から地域協力の下、公園内湿地帯においてサギ草の自生地を復元し、維持保全する取組が行われている。現在、NPO法人水戸西部緑化クラブ、大塚青壮年同志会が公園を維持管理しているが、公園内施設の老朽化が進み、利用者の安心安全な利用に向けた再整備が必要と考える。1300万円の予算を令和2年度に執行すると聞いたが、今後の取組を伺いたい。



成就院池公園

その他の質問

- 新型コロナウイルスの感染拡大防止策は
- 市財政の現状と将来展望は
- 中核市移行の対応状況と財政負担は
- 豪雨や原子力災害への防災・減災対策は
- 水戸駅北口ロヴィン跡地の整備は

公明党水戸市議会



台風第19号被害を踏まえた

市の取組は

**Q** (1)久慈川・那珂川流域における減災対策協議会では那珂川緊急治水対策プロジェクトを発表したが、多重防御治水及び減災に向けた具体的な内容について伺いたい。(2)国田地区の一部では一週間断水が続いたが、ライフラインである水道水が供給できなくなることはあってはならない。そこで、今後の災害に備えた対策が急務であると考えますが、見解を伺いたい。

**A** (1)堤防や遊水地整備の期間が今後30年から5年以内の完成に前倒しされ、大野地区の築堤が加速されるほか、上流での遊水地整備など那珂川水系全体の水位を下げる施策も行われる。飯富地区では意見交換会を開催し、意向を確認している。(2)那珂市と水道管を結び、災害時に相互に融通できる方策を見いだした。令和3年度末を目途に緊急時相互連絡管を整備したい。

オセロ発祥の地を活用した

水戸ならではの取組は

**Q** (1)市ではオセロ発祥の地として、イベントの開催や全国大会の誘致等、ブランドイメージを高めなが

ら魅力を発信している。また、大盤オセロやピンバッジが寄附されるなど、市民等の取組も活発になっている。そこで、さらに多くの市民が世代を超えてオセロを通じた交流ができる取組を展開し、全国からも参加者が集まるものに発展させてはと考えるが、見解を伺いたい。(2)2026年の第50回世界オセロ選手権についても、第30回、第40回と同様、本市に誘致すべきと考えるが、見解を伺いたい。

**A** (1)これまでの事業の魅力を高め、さらに、全国からの参加にも進展させていく中で、新たな事業も検討する。(2)積極的に誘致したいと考えており、オール水戸で取り組む機運を醸成しながら、時期を逃さず関係団体との交渉に尽力する。



市民から寄贈された大盤オセロ(市役所)

その他の質問

- 新型コロナウイルス対策と今後の感染症対策は
- 市債残高等について市民が安心できる説明を
- リノベーションまちづくりへの市の見解は
- 森林公園等のParkIPFの導入を
- ICT教育やアクティブラーニングの現状は

## 民主・社民フォーラム



### 東海第二原発再稼働に係る 協議状況と市の方針は

**Q** (1) 日本原電は、東海第二原発の再稼働に向け安全対策工事を進めているが、説明が不十分であり周辺住民は不安に感じている。2月に開催された原子力所在地域首长懇談会では、日本原電から使用前検査の説明があったと聞いたが、その内容について伺いたい。(2) 広域避難計画の策定や市民意向調査ができていない中で、安全対策工事の着工が既成事実となりえるおそれがあるが、再稼働可否の判断時期に対する考えを伺いたい。

**A** (1) 使用前検査は安全対策工事を進めるために必要な手続きであり、各首长の了解なしに原子炉を動かすことはない。日本原電から説明を受けた。(2) 既成事実として扱われる懸念があると厳しく追及したところであり、今後事業者の計画に促われず、市民の声を十分に考慮して最終的な判断を下す。

### こども・こころの教室の 受入体制の拡充を

**Q** 子どもの発達支援の取組として、市立幼稚園3か所にこども・こころの教室を設置しており、言語や

情緒面等の発達に不安がある児童に指導を行っている。保護者や民間の幼児教育・保育施設にとっても心強い事業であるが、通級する児童数は年々増加しており、今後の利用需要に対応できるか懸念される。そこで、教室の増設や職員配置体制の強化を図り、事業を拡充すべきと考えるがどうか。

**A** こども・こころの教室には、現在約290名の児童が在籍しており、一人当たり月1、2回程度しか指導を受けられない状況にある。今後、通級者の利便性にも配慮し、需要に応じた数の教室を市内にバランスポイントよく配置するとともに、専門職員を配置している子ども発達支援センターと連携するなど、機能の強化充実を図っていく。



こども・こころの教室(浜田幼稚園)

**その他の質問**  
 ○ 新型コロナウイルス感染症による影響と対策は  
 ○ 避難者受入計画の進捗と今後のスケジュールは  
 ○ 安定ヨウ素剤の事前配布に対する市の考え方は  
 ○ リニューアルされた丘和記念館の活用方針は  
 ○ 核兵器廃絶に向けた積極的なアピール、発信を

## 魁、水戸



### 環境問題に対する 市の取組状況は

**Q** (1) 市は地球温暖化対策実行計画で平成2年度を基準にCO<sub>2</sub>排出量15%削減を目指している。令和2年度が最終年となるが達成状況を伺いたい。(2) 令和2年度は新ごみ処理施設や新たなごみ分別が開始されるが、ごみとCO<sub>2</sub>排出量の削減目標を伺いたい。(3) 市では民間レベルでの環境保全活動が活発であることから、SDGs(※)や気候変動などの時代に沿った環境条例を制定し、官民協働による活動を推進すべきと考えるがどうか。

**A** (1) 最新実績値は約10%増で、目標達成は厳しい。多様な関係部門と一丸となって削減に取り組む。(2) 平成30年度比較で令和2年度はごみ3千t減、CO<sub>2</sub>排出量31%減を見込む。(3) SDGsの環境分野の目標達成に向け各計画を見直す。市民や事業者等と連携・協力し、環境問題に着実に対応する。

### 市南部地区への図書館の整備を

**Q** 笠原地区をはじめとする南部地区では、茨城県庁の移転以来、住宅開発や商業施設の整備が進み、小

学校の児童数が劇的に増加するなど、めざましい発展を遂げている。近年、同地区及び周辺地域から文化の拠点施設として図書館の整備を求める要望を多く聞く。市はこれまで、中心市街地周辺に広がる住宅エリアのうち人口が集中する地域に学校や図書館を整備してきた。今後、南部地区でも同様の発展が予測されることから、戦略的に地域の魅力向上へつなげ、人口集積を図る施策として、図書館を整備していくべきと考えるが、見解を伺いたい。

**A** 南部地区における図書館整備の必要性を認識している。次期総合計画及び第4次図書館基本計画の策定に向けて、適正配置という観点の下、整備の可能性を検討する。



整備の進む笠原地区

**その他の質問**  
 ○ 社会教育委員会議の提言書を踏まえた取組は  
 ○ 市保健所設置による新型コロナウイルス対応は  
 ○ 人口減少社会における経済政策の実績と戦略は  
 ○ 国道6号と50号バイパス交差点の立体化は  
 ○ 都市計画道路3・3・2号線の開通時期は

## 県都市民クラブ



### 新型コロナウイルスに係る

#### 教育機関の対応は

**Q** 市では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために、国からの要請を受け、3月3日から24日まで全ての小中学校を臨時休業とした。休業の間、児童生徒は家の中で過ごすよう指導され、家庭等の施設利用も制限される。(1)児童生徒の健康面、学習面への影響が心配であるが、各学校等における支援状況について伺いたい。(2)臨時休業の延長を想定した、今後の方針について伺いたい。

**A** (1) 学校では、週1回程度の家庭訪問や電話連絡等による生活状況の確認、保護者へのメールの配信を実施している。また、総合教育研究所では、市内全ての学校の取組状況を確認し、支援に当たっている。(2) 国の動向や感染拡大の状況を見極めながら、児童生徒の健康と安全を第一に考え、必要な学習支援等の対応を図っていく。

### 地域活性化を目的とした

#### 公共交通整備の推進を

**Q** 市は、国田地区等の郊外部でタクシーを活用した交通政策を実施しているが、人口減少地域における

交通手段不足の抜本的な解決には至っていない。親が送迎しなければ子どもが高校まで通えないという家庭もあり、子育て支援の側面から見ても大きな課題と考える。地域活性化のための公共交通の在り方を検討すべきと考えるが、今後の方針について伺いたい。

**A** 将来にわたり持続可能な公共交通体系の構築が必要と考えており、1,000円タクシーもその取組の一つである。当該政策は一部の地域に定着しつつあるが、利用時間の問題で高校生の通学手段にはなっていない。今後、1,000円タクシー事業を順次拡充するとともに、全国の先進的な取組を調査し、地域活性化に資する理想的な移動手段の在り方を追求していく。



1,000円タクシー国田号

**その他の質問**  
 ○4大プロジェクトの検証と財政運営の考え方は  
 ○中心市街地再生に向けた取組の現状と課題は  
 ○石川の氾濫を教訓とした雨水排水対策は  
 ○ロマンチックゾーンの再整備計画の進捗は  
 ○県庁周辺の土地活用と都市計画税の導入を

## 日本共産党水戸市議団



### 新型コロナウイルスに対する

#### 市の取組は

**Q** 新型コロナウイルスの感染が拡大しており、早期発見・治療のための検査体制の確立が必要である。(1) 4月1日に開設する市保健所に相談センターを設置するのか。(2) PCR検査はどのように受けられるのか。感染者が出た場合の市内医療機関の受入体制は。(3) イベント中止や外出自粛で地域経済や市民の暮らしは大変だ。国の支援策の周知に加え、市独自に減税や営業損失補填等を実施すべきでは。

**A** (1) 医師・保健師等で相談センターを設置し感染者発生時の円滑な支援の準備を進めている。(2) 県衛生研究所と協力し適切に検査を実施する。国・県、医師会・薬剤師会等の総力を結集し市民の生命を守る。(3) 一自治体では解決できない。国支援策の活用に向け相談や周知に取り組み。国に地域の実情を伝え経済対策・財政支援を要望する。

### ジェンダー平等社会に向けた

#### 市の取組は

**Q** 国連は今年をジェンダー平等達成に向けた要の年と呼びかけたが、日本のジェンダーギャップ指数は

先進国中最下位である。(1) 市が実施した男女の働き方アンケートで、セクハラ・マタハラ対策をしていない事業所が75%、「職場に離職を促す慣行や雰囲気がある」との40代女性の回答等多くの課題がある。どのように市民や企業に働きかけしていくのか。(2) 性的マイノリティへの支援策も伺いたい。

**A** (1) 本市でも固定的性別役割分担意識、男女の経済や地位格差がある。事業者の働き方改革や育児・介護休業等の取得促進に取り組む。非正規雇用女性のスキルアップ支援や、大学生への仕事と家庭の両立に関する体験機会の提供等を推進する。(2) 性的マイノリティへの誤解や偏見をなくす啓発、相談体制の充実等の環境づくりを進める。



市職員向けに実施した性的マイノリティ研修

**その他の質問**  
 ○暮らしの圧迫の10億円の市民負担増中止を  
 ・水道料金11%5億円の値上げ中止を求める  
 ・後期高齢者医療保険料、国保税値上げ反対  
 ○新市民会館への81億円の予算投入の中止を  
 ○働き方改善を進め、教員多忙化の解消実現を

民間部門との連携により  
更なる歴史まちづくりの推進を

谷山 秋慎

幼稚園の廃止計画を中止し  
充実を図る取組を

庭野 中次

マイナポイント制度の  
普及に向けた取組は

鈴木 宣子

ICTを活用した  
学習環境の充実を

高倉 富士男

Q 2月に水戸城大手門が完成した。周辺の活性化が期待されるが、このエリアには買い物や飲食の場所がなく、国内外からの誘客を図るためには、民間事業者との連携が必要と考える。そこで、(1)市の歴史まちづくりは歴史文化財課の所管だが、庁内関係各課や民間部門とはどのように連携しているのか。(2)戦略的にまちづくりを進めるため、歴史文化財課を教育委員会から市長部局に移管してはどうか。

A (1)庁内に組織した検討委員会で各部署が連携している。市民観光ボランティアや地元団体によるおもてなしが観光客に好評を博している。また、二の丸跡の白壁はNPO法人が整備した。(2)中核市のうち3市において市長部局に移管している。先進事例における効果や問題点の把握に努める。



水戸城大手門

その他の質問

- リノベーションまちづくりで中心街の再生を
- 町内会の加入促進のため負担軽減の取組を
- 次世代が安心できる中長期の財政ビジョンを

Q 市は、4月に五軒幼稚園を廃止し、今後7園(飯富、稻荷第二、国田、妻里、梅が丘、城東、千波)を廃止する市立幼稚園の再編方針を2月に突然発表した。(1)地域実情を無視し、廃止基準を園児19名以下とした理由は。(2)見川幼稚園を含む4園は園児数を見て廃止を検討するとしているが、見川幼稚園は2年後に新園舎整備を計画しており、存続すべきでは。(3)幼稚園の充実のため、3年保育や送迎バス運行、給食提供を実施すべきでは。

A (1)再編方針により、園児減少が顕著な園は募集を停止し、在園児ゼロの時点で廃止することとした。(2)状況に鑑み、整備方針を再検討することとした。(3)緑岡・酒門幼稚園で3年保育を実施し、浜田幼稚園を含む3園は幼稚園型認定こども園に移行する。



見川幼稚園における活動の様子

その他の質問

- 開放学級における民間委託の中止を
- 水府病院の存続を国に求めるべきでは
- 新市民会館の建設中止と計画の見直しを

Q 9月から、マイナンバーカードの普及、消費活性化、官民キャッシュレス決済基盤の構築等を目的とするマイナポイント制度が始まる。本制度はカード所有者がキャッシュレス決済を利用することで買い物等に使える上限5千円分のポイントが付与されるものである。国は3年後にほとんどの住民がカードを保有することを目指しており、本市でもカード普及に向けた積極的な対応が期待されるが、本制度の普及策について伺いたい。

A 本制度の利用には、マイナンバーカードの取得とともに個人認証のためのIDの設定が必要になる。本市としても、国や関係機関と連携し、あらゆる機会を捉えて、カード取得を促すとともに、IDの設定についても丁寧な説明を行い、円滑な利用に向けて支援していく。



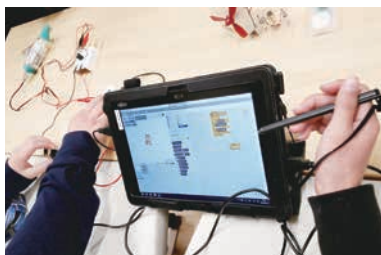
マイナンバーカード(見本)

その他の質問

- ごみ出しが困難な世帯への支援策は
- 認知症の賠償責任保険による公的補償について・導入の経緯と周知方法は

Q 国ではGIGAスクール構想(※)を打ち出し、各自自治体でのICT環境整備を後押ししている。本市ではこれまで教育用タブレット端末の全小中学校への配備やプログラミング教育などICTの活用について積極的に取り組んできた。そこで、(1)国のGIGAスクール構想を受けての対応、(2)ICT化の効果と今後の活用方策、(3)教職員へのICT活用技術のスキルアップ策について、それぞれ伺いたい。

A (1)学校の情報通信環境の再構築や児童生徒へのタブレット端末1人1台配置に向け取り組む。(2)教科のねらいを達成するとともに、情報活用能力が身につく。今後は常に机の上にある状態での使用を想定している。(3)研修の実施やICT支援員を増員するなど学校に対するサポート体制の充実を図る。



教育用タブレット端末

その他の質問

- ごみ分別の市民周知の現状と収集の対応は
- ごみ分別アプリの導入は

※GIGAスクール構想…創造性を育む教育ICT環境の実現に向け、1人1台端末環境などを整備する構想。GIGAは、Global and Innovation Gateway for Allの略。



市動物愛護センター

### その他の質問

- 公契約条例の制定に向けた見解は
- 安全な通学路確保に向けた施策や取組は
- 成年年齢引き下げに伴う成人式の在り方は

### 殺処分ゼロに向けた 具体的な取組は

佐藤 昭雄

**Q** 市内で保護・収容した犬猫の数は、平成28年度の250頭から近年減少し、令和元年度は137頭である。4月から市動物愛護センターを開設するが、今後も一定数の収容が考えられ、不必要な殺処分を減らす取組を一層進める必要がある。そこで、保護犬・保護猫の現状を知る機会の確保や譲渡会の頻繁な開催など、将来の殺処分ゼロにつながる具体的な取組が必要と考えるが、見解を伺いたい。

**A** 獣医師を中心に、適正飼養に関する普及啓発及び指導や、保護動物の譲渡の推進等に行っており、保護動物の譲渡の推進等に行っており、保護動物の譲渡の推進等に行っている。特に市独自の動物愛護センターを生かした動物愛護意識を高める取組として、小学校における動物との触れ合いを実施することなどにより、子どもたちに命の大切さを学ぶ機会を提供する。



夜間走行の自転車（イメージ）

### その他の質問

- 住宅用火災警報器の設置状況と今後の方針は
- 火災対策にスタンドパイプや消防パイプの導入を
- 保育施設周辺のキッズゾーン設置の推進を

### 自転車の 交通安全対策の強化を

森正 慶

**Q** (1)夕方や夜間に走行する自転車は自動車ドライバーから認識しづらく、接触事故につながるおそれがあるとの声を聞く。そこで、夜間走行時の反射材装着の推進など、自転車の安全性を向上させる取組が必要と考えるが、見解を伺いたい。(2)自転車事故による高額賠償判決が全国で相次ぎ、自治体が独自に自転車損害賠償保険加入を義務化する事例も出ていますが、本市の保険加入を促す取組を伺いたい。

**A** (1)夜間の事故防止を目的に、反射材付きのたすきやキーホルダー等を配布して利用者の意識向上に努めており、今後もハード、ソフト両面による対策の強化に努める。(2)学校との連携により児童生徒の加入を促すとともに、市民の理解を深めるためのリーフレット等を配布し、情報提供を強化する。

### 健康増進法の改正と たばこ税の活用への見解は

渡辺 政明

**Q** (1)健康増進法の改正により、望まない受動喫煙防止等のため、4月からさらに厳しい規制となるが、喫煙、分煙のルールの詳細を伺いたい。(2)たばこ税が本来の法趣旨である分煙対策や受動喫煙防止対策等に活用された事例は聞かないことから、たばこ税の歴史や使途を広く周知するとともに、目的税としての運用を検討すべきと考えられているが、見解を伺いたい。

**A** (1)原則、屋内禁煙である。飲食店等で屋内喫煙を可にするには喫煙専用室を設置する必要がある。(2)地方税法上、目的税とすることは困難である。積極的な情報発信に努める。(3)受動喫煙防止策への支援として国が行う助成制度が活用されるよう、積極的に周知する。



市役所屋外の喫煙所

### その他の質問

- たばこや喫煙に対する市の基本的な考えは
- 国におけるたばこ税への考えや最終目的は
- たばこ税のしくみと本市に交付された額は

### 酒門358号線整備の進捗と 今後の見通しは

原 文隆

**Q** 酒門358号線は、本市と大洗町方面をつなぐ重要な道路である。また、4月から稼働する新ごみ処理施設へのアクセス道路としても早期整備が望まれる。そこで、現在の進捗状況と今後の見通しについて伺いたい。

**A** 酒門358号線の整備計画については、延長約1700メートル、幅員約13メートルで両側に歩道を設置することとしている。進捗状況については、平成27年度から事業に着手し、道路線形計画、現地測量、道路詳細設計を行った。平成30年度には、用地測量、用地補償調査などを進めた。令和元年度からは、用地取得を実施している。工事については、道路排水の流末工事を進めている。今後も継続的に地域の理解を得ながら用地取得、工事と順次進めていく。



酒門358号線の整備により渋滞緩和が期待される県道

### その他の質問

- 元石川市民運動場の利用しやすい環境づくりを
- 国道6号酒門町交差点の立体化を



## ヘルスプロモーション (健康戦略)の取組は

藤子  
後通

**Q** (1)新型コロナウイルス感染症対策として不要不急の外出を控える中、幼児健診や予防接種を受けられない家庭があるが本市の対応は。また、治療に携わる医療従事者に対し一部偏見があるが本市の見解は。(2)市保健所における保健師の人数、地域での活動、研修体制は。(3)介護助手の活用は。(4)障害者基幹相談支援センター及び地域生活支援拠点等の執行体制、効果等は。

**A** (1)健診は延期の措置をとった。予防接種は適切な期間内に接種することが重要。偏見が生じないように周知する。(2)32人。各種相談、指導を実施し、庁内研修や県主催の研修に参加した。(3)アクティブシニアの活躍を視野に入れ検討する。(4)センターの運営は市社協に委託し、地域生活支援拠点等とともに、障害者等の地域生活を支える。



幼児健診

## 不法行為に対する 毅然とした対処を

田口  
明文

**Q** 市職員は、犯罪や一部市民に利益を与える不公平を見逃してはならない。(1)水戸駅南口ペDESTリアンデッキの足元灯がほとんど破損している。公共施設を破損した場合、市は、警察に被害届を出し、当事者に損害賠償を求めるときと考えるがどうか。(2)建築物完成後の後退敷地を自己利用する事例がある。遵法する市民にとって不公平であり、指導だけでなく何らかの対策が必要と考えるがどうか。

**A** (1)被害届は出していないが、損傷は認識しており、補修方法等を検討する。引き続き、警察等と連携して防犯活動を実施し、被害届や賠償責任の考え方も整理しながら環境維持に努める。(2)粘り強く継続的に是正指導する。令和2年度は新たに違反建築パトロールを計画しており、指導や確認を行う。



破損した足元灯

### その他の質問

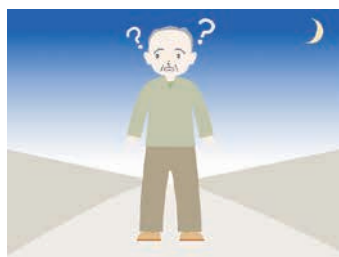
○三世帯同居を推進する助成制度の拡充を

## 認知症対策に係る 令和2年度予算の内容は

本久  
松勝

**Q** 令和2年度一般会計予算の高齢者生活支援経費のうち、(1)役務費51万4000円の主な内容、(2)認知症高齢者等おでかけあんしん保険事業の概要、(3)市が把握している認知症患者のおおよその人数、(4)当該事業に係る経費の算出根拠について、それぞれ伺いたい。

**A** (1)認知症高齢者等おでかけあんしん保険事業費として、30万円を計上する。(2)市が契約する保険を用いて認知症高齢者等が他者に与えた損害の補償をすることにより、本人とその家族が安心して暮らせる環境を整備する。(3)正確な数は把握していないが、約1万人程度と推計する。(4)約100人分の年間保険料25万円、事業周知に係る費用5万円を見込む。なお、本事業は、市が設定した5つの条件全てに該当する高齢者を対象とする。



認知症患者の一人歩き(イメージ)

### その他の質疑

○自治会加入促進に係る令和2年度予算の内容は  
○広域合併の推進に係る令和2年度予算の内容は

## 新型コロナウイルスの拡大による 休日夜間緊急診療所への影響は

須田  
浩和

**Q** 新型コロナウイルス感染症の影響によって、濃厚接触者となった医師が業務に当たることができなくなり、大学病院等の医局で医師不足が発生し始めていると聞いた。医師不足によって、医療機関よりも先に市の休日夜間緊急診療所の運営に影響が出ることは必然だと考えるが、見解を伺いたい。少しでも早く情報を得て対策を打つことで、影響を最小限とし、私たちの生活を守ってほしい。

**A** 議員指摘のとおり、感染症の拡大に伴い、大学病院からの医師の派遣が困難になることや、市においても市医師会等の関係機関の協力が厳しくなることが予測され、診療所の運営体制の維持も難しくなる。診療所の運営に支障が生じぬよう、大学病院、市医師会との情報交換をより一層密に行う。



休日夜間緊急診療所

### その他の質問

○廃止幼稚園の開放学級への利用を  
○千波市民センター移転改築費と跡地の活用策は  
○南消防署緑岡出張所改築事業の内容は

## 新市民会館整備計画は 根本から見直しを

つちだ  
土田  
記代美

**Q** 新市民会館整備計画への支出差し止めを求める住民訴訟が起こされた。354億円の税金投入に市民理解は得られず、根本的な見直しが必要である。(1)計画の舞台設計は一般的で、今の時代に選ばれる施設にはなりえない。無用な箱物ではなく、市民が活用できる質のよいホールを早期に再建すべきだがどうか。(2)これまでも成果のない実験や調査が議会に説明なく行われ、税金が使われてきた。現在、経年変化の実験として解体現場に木の柱が建てられたが、解体工事が終われば撤去される。無駄なデモンストラクションではないか。

**A** (1)大ホールは催し物の規模によって柔軟に対応でき、類似施設との競合に打ち勝てると思われる。(2)柱のモックアップ製作は重要な工程であり、着実に事業を推進する。



解体現場の木の柱

### その他の質問

- 河川整備の加速化と農業支援の充実を
- 東海第二原発はきっぱりと廃炉を求める表明を
- 市民との協働で動物殺処分ゼロの実現を

## 那珂川緊急治水対策 プロジェクトの早期実現を

たぐち  
田口  
米蔵

**Q** 気象環境の変化により、台風第19号のような台風が多発が予想されるが、市民の生命と財産を守るためにも、那珂川緊急治水対策プロジェクトにおける各種事業の一日も早い実現が望まれる。そこで、(1)当プロジェクトの具体的な対策について、(2)吉沼町内の浸水対策について、それぞれ伺いたい。

**A** (1)当プロジェクトでは、社会経済被害の最小化を目指すことを決めた。具体的な対策としては、これまで30年を整備期間として位置付けられていた河川整備について、令和6年度までの完成を目標とし、大幅に前倒しされることになった。これにより、大野地区での築堤や河道内の土砂・樹木の撤去が進む。(2)吉沼町内の浸水対策については、国において測量調査及び地形を踏まえた対策を検討している。



築堤工事(坏大野地内)

### その他の質問

- 犯罪被害者支援条例制定への取組は
- 人・農地プランの実質化のスケジュールは
- もろかる農業・農産物のブランド化を

## 小中学校における衛生管理の 現状と対策は

わたし  
綿引  
健

**Q** (1)小中学校での調理実習では、児童生徒が作ったものが直接口に入るが、家庭科室の衛生管理や食中毒防止への対策は。児童生徒自身が衛生保持できる指導やしくみづくりは。(2)教育用タブレット端末は、不特定多数の人が使用するため雑菌が繁殖しやすいと考えるが、衛生管理の現状と対策は。

**A** (1)家庭科の教員等が清潔保持の指導をしており、引き続き、取組の徹底を図る。食器類等の片づけ方法等を掲示物等で表示しているほか、掃き掃除や水拭きの順番等を表で示すなどの工夫をしている。(2)情報教育担当の教員が定期的に端末の手入れをしている。今後は、手洗いの励行やアルコール消毒液による手指消毒を徹底するとともに、清潔保持の重要性を繰り返し指導し、衛生的な管理に努める。



求められる衛生管理

### その他の質問

- 保育所等における給食のアレルギー対策は
- 朝食摂取率向上のための取組は
- 学校プールの管理は民間に委託を

## 農業用機械の大型化に伴う 農業従事者の免許取得費助成を

こいずみ  
小泉  
康

**Q** (1)法改正により、普通免許で運転できる積載重量が制限されたほか、諸条件を満たした農耕車の公道走行が可能となった。農業従事者が交通違反ならぬよう改正内容を周知徹底すべきと考えるが、見解を伺う。(2)大規模営農や集約化により、今後、大型の農業用機械や回送車の需要増が予想されることから、必要な免許取得に係る費用負担の増大が懸念される。担い手の育成や、税の増収の観点からも、JA水戸や市内教習所と連携・協力を図り、免許取得費の助成を行うべきと考えるが、見解を伺う。

**A** (1)広報みやや農業委員会などによりを通じて周知徹底を図る。(2)県立農業大にて一部免許を安価取得できる研修があり、当該研修を周知していく。議員提案は、関係機関と協議を図り、今後検討していく。



農耕車(トラクター)と回送車

### その他の質問

- 台風災害を教訓とした消防資機材の拡充・新訓練導入を
- 藤井地区の畑地帯総合整備事業の進捗と今後の推進を
- 新型コロナ対策を施す開放学級支援員のバックアップを

## 令和元年度常任委員会の視察状況

各常任委員会では，市政の課題解決に生かすため先進都市の事例を調査研究しました。主な内容については下記のとおりです。

**総務環境委員会** 令和元年11月12日～14日  
豊明市，吹田市，京都市

豊明市では，高齢者の外出支援や効率の良い公共交通網の形成を目的に，民間事業者と連携し実施するオンデマンド型乗り合い交通「チョイソコとよあけ」について調査研究を行いました。

吹田市では，日本で初めて寄附金によって建設した市立吹田サッカースタジアムについて調査研究を行いました。



市立吹田サッカースタジアム

**産業水道委員会** ※ 令和2年1月21日～23日  
八女市，鹿児島市

八女市では，日本三大提灯の一つである八女提灯を活用する八女のまつりの取組状況や伝統文化の継承に向けた伝統産業の育成・支援策及びPRについて調査研究を行いました。

鹿児島市では，中央卸売市場の再整備について，事業概要及び課題等について，調査研究を行いました。



八女伝統工芸館

**文教福祉委員会** 令和2年1月28日～30日  
広島市，神戸市，京都市

神戸市では，診断助成制度や事故救済制度，財源に特徴を持つ認知症対策「神戸モデル」について調査研究を行いました。

京都市では，市民防災センターの施設概要や管理運営，利用状況等とともに，消防団の充実，強化に向けた取組状況や成果等について調査研究を行いました。



京都市市民防災センター

**都市建設委員会** ※ 令和2年1月28日～30日  
沼津市，伊勢市，和歌山市

沼津市では，用途を廃止した教育施設の利活用方策として，公募で選定された民間事業者が運営を行う，公園一体型宿泊施設「INN THE PARK」の調査研究を行いました。

伊勢市では，勢田川流域等浸水対策実行計画に係る経緯，事業概要，成果等について調査研究を行いました。



INN THE PARK

※委員会名称変更 P12をご参照ください

## 可決した意見書

今定例会では，議員提出議案として，2件の意見書を可決しました。

- 1 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の抑制を求める意見書
- 2 中高年層のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める意見書

## 行政文書の開示の実施状況

水戸市議会情報公開制度は，公文書を公開することにより広く開かれた水戸市議会を目指そうとする制度です。

### 令和元年度情報公開の請求及び決定の件数

請求件数	決定の区分			審査請求
	全部開示	部分開示	不開示	
			うち不存在	
30	30	—	—	—

**【特別委員会】**  
一般会計、特別会計、公営企業会計決算などを審査する特別委員会と、特定の問題を審査、調査する特別委員会があります。いずれも臨時的に設置して、審査、調査が終了するとなくなります。

**【常任委員会】**  
市の業務は非常に幅広く複雑なため、少人数の議員で構成する常任委員会を設け、議案や請願などを専門的、能率的に審査しています。本市議会には、4つの常任委員会があります。

**【議会運営委員会】**  
議会運営を円滑に行うため、各会派の代表者による8名の委員からなる議会運営委員会を設置しています。各会派の意見を調整し、議会運営上必要な事項に関し取り決めを行います。

**【委員会】**  
一般質問などを行います。

**【本会議】**  
議員全員で構成し、市議会の意思を決定する会議です。市議会に提出された議案や市議会としての意見表明などの可否は、最終的には全て本会議で決定します。また、議員が市政全般の施策等について市長の考えを問いただす代表質問、一般質問などを行います。

## 市議会の運営

## 建設企業委員会

### 令和2年度一般会計(建設企業委員会所管分)の 当初予算

**主な質疑** 住宅救助経費に係る事業概要, 上水道費における財源の考え方, 水道事業会計繰出金に係る安全対策事業の概要, 植物公園再整備事業費の内訳, 道路新設改良工事の詳細, 石川河川改良事業の進捗状況, 水戸駅等周辺施設の維持管理に係る委託内容, 泉町1丁目北地区市街地再開発事業における事業費の内訳, 都市計画道路3・3・2号中大野中河内線(松が丘工区)及び都市計画道路3・4・149号赤塚駅西線の整備スケジュールなど。

**主な意見** (1)都市計画道路3・3・2号中大野中河内線においては, 早期完成に向けた事業の進め方について検討されたい。(2)設計や測量等に係る委託業務については, 業務内容に応じて技術職員の活用を図り, 委託料の縮減に取り組まれたい。(3)各河川における整備計画や進捗状況の把握に努められたい。

賛成多数 可決

### 常磐線内原駅南北自由通路整備工事委託協定の 締結

**主な質疑** 供用開始予定時期, エスカレーター設置の有無など。

**主な意見** 駅舎等の整備に当たっては, 他市において新たに整備した駅を参考にしながら, バリアフリーをはじめ, 市民の利便性に十分配慮されたい。

全会一致 可決

## 総務環境委員会

### 令和2年度一般会計(総務環境委員会所管分)の 当初予算

**主な質疑** 中核市移行に伴い実施する職員研修の内容, 市庁舎駐車場の整備状況及び管理運営の方針, 庁舎管理に係る経費の詳細及び旧庁舎との比較, 新庁舎建設事業における令和元年度執行額及び令和2年度への繰越予定額, 自転車通行空間の整備内容及びその効果, 1,000円タクシー事業の導入地区の選定方針, 土のうステーションの詳細及び設置場所, 防犯カメラの設置状況及び運用ガイドラインの策定状況, 浜見台霊園の拡張整備工事の内容及び側溝蓋の設置の進捗状況, 斎場待合室の現況及び今後の洋室化の見込み, 中核市移行に伴い県から移譲される産業廃棄物に係る事務の準備状況, 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組及び延期等を想定した対応, ベルギーチームの事前キャンプ受け入れに係る予算及び事業内容, 新型コロナウイルス感染症の影響により納税が困難な場合の猶予制度, 税制改正に伴う法人市民税への影響及び各種交付金との関係, 市庁舎駐車場使用料の詳細, 新市民会館整備及び泉町1丁目北地区市街地再開発事業に係る特定財源の内訳など。

**主な意見** (1)市庁舎駐車場においては, 利用者の利便性に配慮した運用及び効率的な管理を検討されたい。(2)新市民会館の早期整備に向け, 着実な事業推進を図られたい。

賛成多数 可決

## 常任委員会の名称等が一部変更になりました。

今定例会中, 水戸市議会委員会条例を一部改正し, 一部の常任委員会の名称及び所管する部署が変更になりました。(令和2年3月16日議決)

【名称】

(旧)		(新)
産業水道委員会	⇒	産業消防委員会
都市建設委員会	⇒	建設企業委員会



## 文教福祉委員会

### 令和2年度一般会計(文教福祉委員会所管分)の当初予算

**主な質疑** ミオス入居に係る市負担金及びその算出根拠, 障害者基幹相談支援センター及び地域生活支援拠点等の設置計画及び業務内容, 敬老会への補助金額の推移と収支報告の方法, 開江老人ホームの入所状況, 市民センター子育て広場事業の内容及び予算内訳, 市立保育所の待機児童数の見込み, 新型コロナウイルス感染症に対する本市の対応及び県や医療機関等との連携・協力体制, 市内医療機関における感染者の受入可能病床数及び中核市移行後の対応方針, 動物愛護センターの人員体制及び運営に係る業務委託内容, 医師修学資金貸与事業の申込状況, 教育用タブレット型パソコンの導入効果及び今後の増設計画, ICT支援員の配置状況, 見川小学校校舎改築事業の進捗状況, 台渡里官衙遺跡群発掘調査の進捗状況, 学校給食における地場農産物の活用状況及び食材の調達方法など。

**主な意見** (1)小規模保育施設に入所している児童の3歳以降の受け皿確保に向け, 市として効果的な対策に取り組まれない。(2)新型コロナウイルス感染症に対しては, 市民の命と健康を守るため, 関係機関等との緊密な連携の下, 中核市移行後も引き続き万全な体制で対応に当たられたい。(3)小中学校トイレ洋式化事業については, 教育環境の更なる充実に向け, 早期の完了を目指し鋭意取り組まれない。(4)ヒカリモの保存・活用に向けては, 先進事例を参考にするとともに, 専門家等の協力を得ながら, より一層の調査研究に取り組まれない。(5)水戸城二の丸角櫓<sup>すみ</sup>周辺整備については, 観光資源としての活用を図るなど, 関係各課と十分連携しながら, 更なる魅力向上に向け取り組まれない。

賛成多数 可決

## 産業消防委員会

### 令和2年度一般会計(産業消防委員会所管分)の当初予算

**主な質疑** UJターン・若者定着応援事業の実績, 当該事業における次年度の取組方針, 産地パワーアップ事業を実施するに至った経緯及び目的, 有害鳥獣対策事業の捕獲対象及び捕獲後の対応, 強い農業・担い手づくり総合支援事業における対象事業者の概要, 森林公園におけるアカマツの保全状況及び松くい虫防除方法, 中心市街地活性化に資する事業等の実績, 産業活性化コーディネーター及び企業誘致コーディネーターの勤務形態, いばらき県央地域観光協議会の事業及び負担金, 応急手当講習会の実施状況, 感染症に備えた救急搬送資機材の配備状況, 南消防署移転改築事業の完了時期, 水防装備品及び資機材の現況及び必要数, 茨城消防救急無線・指令センターの構成団体数, 指令センターへの派遣職員の人数及び人件費の財源など。

**主な意見** (1)インターネット環境の下で情報収集を行う学生を意識し, ICTの活用による地元企業の情報発信の強化に努められたい。(2)地域おこし協力隊の受け入れを通じ, 地域農業の活性化や隊員の就業, 定着等の目標達成に向けて鋭意努力されたい。(3)新型コロナウイルス感染症の影響により経済が停滞していることから, 中小企業等を支援する国の補助制度等の情報を積極的に収集し, 事業者支援に努められたい。(4)コンビニエンスストアAED設置事業の推進に当たっては, 設置したAEDが十分に活用されるよう, 市民への周知徹底に努められたい。(5)水防装備品の充実強化に当たっては, 大規模水害に備え, 必要な資機材を配備し, 万全な体制を構築されたい。(6)各種事業の推進に当たっては, 短期的, 中期的, 長期的な展望を区別した施策を検討するとともに, 他の事業との連携を図ることで相乗効果を創出し, 市民が誇りや自信を持てるまちづくりを展開されたい。

全会一致 可決

## 企画総務部門

RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)による業務自動化	130万円
国勢調査の実施	1億2,594万円
インナープロモーション強化事業	140万円
キャッシュレス決済の導入	58万円
スマートフォン決済アプリを用いた市税収納の導入	155万円

## 市民協働部門

土のうステーションの設置	130万円
洪水ハザードマップの改定	90万円
重慶市友好交流都市締結20周年記念事業	650万円
東京オリンピック・パラリンピック機運醸成事業	500万円
全国高等学校総合体育大会(弓道競技)の開催	1,500万円

## 生活環境部門

斎場長寿命化計画の策定	300万円
-------------	-------

## 福祉部門

障害者基幹相談支援センター及び地域生活支援拠点等の設置	1,290万円
障害福祉施設の整備等の支援	2億7,812万円
認知症高齢者等おでかけあんしん保険事業	30万円
ひとり親家庭等への福祉資金の貸付	1,110万円

## 消防部門

緑岡出張所改築事業	1,800万円
水防装備品の充実強化	700万円

※金額は当初予算額を表す(千円以下を切り捨てて表記)。

## 保健医療部門

糖尿病性腎症の重症化予防のための健康診査の充実	318万円
若年層を対象とするがん検診及び特定健診の無料化	39万円
ロタウイルス予防接種事業	6,074万円
感染症予防対策	2,908万円

## 産業経済部門

弘道館・水戸城跡周辺の魅力づくりの推進	150万円
常磐神社下公衆トイレの整備	1,000万円
地域おこし協力隊による農業活性化事業	665万円
産地パワーアップ事業	3,385万円

## 都市建設部門

千波公園公募設置管理制度(Park-PFI)事業	900万円
--------------------------	-------

## 教育部門

保育補助者雇上強化事業	2,709万円
開放学級及び放課後子ども教室の民間委託化の推進	2億7,960万円
笠原小学校校舎増築事業(1期)	1億7,300万円
小学校校舎増築事業	7,000万円
吉田小学校長寿命化改良事業(2期)	7,300万円
酒門小学校長寿命化改良事業(1期)	2億4,900万円
三の丸小学校屋内運動場長寿命化改良事業	1億5,070万円

令和2年度の市政運営の基本方針及び市の予算については、広報みと(令和2年4月1日号)の特集もご覧ください。



# 令和2年度歳入歳出予算

## 1 予算編成の基本方針(令和2年3月9日日本会議 市長提案理由説明から)

「令和2年度予算については、国及び地方の財政運営方針を踏まえ、未来に躍動する魁のまちの実現に向けた積極的な事業展開と、中長期的視点に立った規律ある財政運営の両立を目指し、編成を行ったところであります。

特に、持続可能な地域社会の構築に向けて、水戸のまちを支える人づくりを強力に推進するため、未来をリードする子どもたちの教育や子育て支援に対し、財源を重点的に配分いたしました。

また、健康づくりや高齢者・障害者支援、防災・減災対策など、多様な市民サービスの更なる向上に取り組むとともに、中核市移行に伴う新たな行政経費について、確実な予算措置を講じました。」



高橋市長

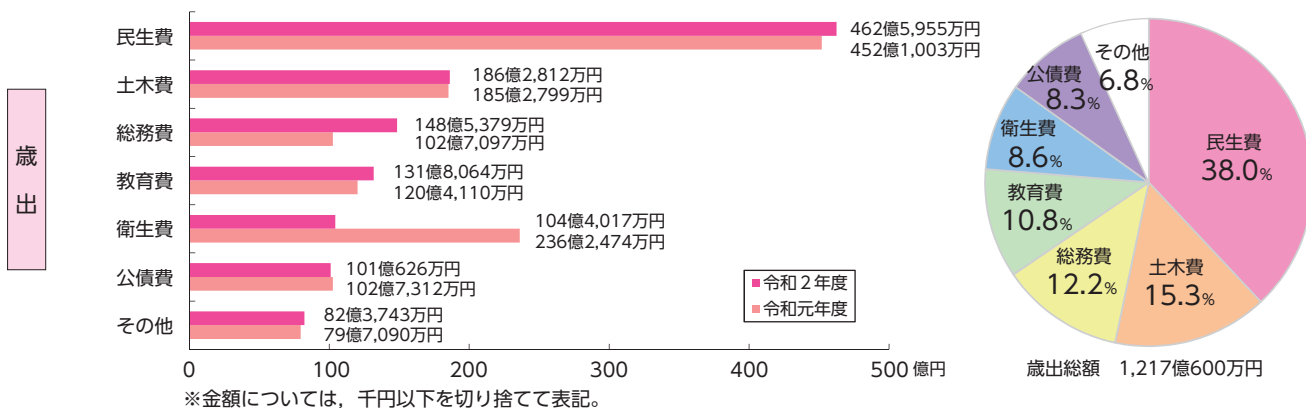
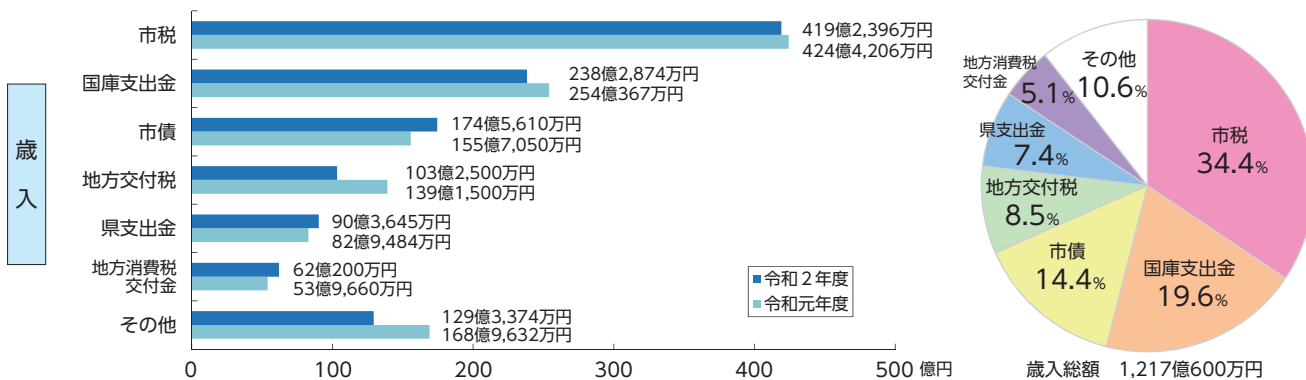
## 2 予算の規模等

### (1) 予算の規模

(単位：千円)

区分	令和2年度	令和元年度	増減	増減率(%)
一般会計	121,706,000	127,919,000	△ 6,213,000	△ 4.9
特別会計	53,290,800	53,420,400	△ 129,600	△ 0.2
公営企業会計	28,934,300	28,600,800	333,500	1.2
計	203,931,100	209,940,200	△ 6,009,100	△ 2.9

### (2) 令和2年度一般会計予算の状況



※金額については、千円以下を切り捨てて表記。



## 議会日誌

1/10	総務環境委員会 文教福祉委員会 産業水道委員会* 都市建設委員会* 全員協議会	2/10	代表者会議	3/19	文教福祉委員会 産業消防委員会* 建設企業委員会*
1/16	行財政改革調査特別委員会	2/13	文教福祉委員会	3/23	総務環境委員会 文教福祉委員会 産業消防委員会* 建設企業委員会*
1/17	行財政改革調査特別委員会	2/20	行財政改革調査特別委員会 水泳競技施設等調査特別委員会 代表者会議	3/24	総務環境委員会 文教福祉委員会 産業消防委員会* 建設企業委員会*
2/4	偕楽園・千波湖周辺整備等 調査特別委員会	2/26	総務環境委員会 文教福祉委員会 産業水道委員会* 都市建設委員会*	3/25	議会運営委員会
2/10	総務環境委員会 文教福祉委員会 産業水道委員会* 都市建設委員会* 全員協議会 新ごみ処理施設整備等 調査特別委員会 新市民会館整備等 調査特別委員会	3/2	代表者会議 議会運営委員会 産業水道委員会*	3/26	議会運営委員会 全員協議会 本会議 議会報編集委員会
		3/5	産業水道委員会*		
		3/9	本会議		
		3/16	本会議		
		3/17	本会議		
		3/18	本会議		
		3/19	代表者会議 総務環境委員会		

\*委員会名称変更 P12をご参照ください

## 傍聴のご案内

本市議会では、本会議をはじめ、常任委員会や特別委員会等の会議を傍聴することができます。各会議の傍聴を希望するかたは、下記を参考にしてください。

	本会議	議会運営委員会、 常任委員会等	特別委員会等
定員	104名 (うち車椅子利用の方は4名)	5名	10名
受付場所	8階(傍聴席入口)	7階(議会事務局)	
手続き	・当日、先着順 ・傍聴券に住所、氏名を記入	・開議予定時刻の40分前～10分前までに受付(定員を超えたときは抽選) ・委員会傍聴申請書に住所、氏名を記入	

## 議会を見よう

本市議会では、インターネットでの本会議のライブ配信及び録画配信、常任委員会の録画配信を行っています。

また、常任委員会及び特別委員会の会議記録も公開しておりますので、ぜひご覧ください。

[議会中継](#)
[委員会会議記録](#)

## 6月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
5/31	6/1	2	3	4	5	6
7	8 本会議 (提案理由説明) 議案説明会	9	10	11	12	13
14	15 本会議 (代表質問)	16 本会議 (代表質問) (議案質疑) (一般質問)	17 本会議 (一般質問)	18 常任委員会	19 常任委員会	20
21	22 議会運営委員会	23 議会運営委員会 全員協議会 本会議 (議了)	24	25	26	27

※6月9～14、20～22日は議案調査

## 編集委員会

- 委員長 小川 勝夫  
副委員長 栗原 文隆
- 委員  
滑川 友理 安藏 栄 土田記代美  
佐藤 昭雄 後藤 通子 森 正慶  
鈴木 宣子 黒木 勇 小泉 康二  
大津 亮一

## 編集後記



水戸市マスコットキャラクター「みとちゃん」

令和2年第1回定例会では、中核市移行関連の条例や令和2年度予算案を中心に、慎重かつ活発な審議を行いました。

4月から水戸市は中核市に移行したことでさまざまな分野の権限が県から移譲されており、議会としても議決機関としての役割を果たすとともに、市民の皆様にはしっかりとその内容をお伝えする必要があると感じています。

今後も市民の皆様にとって、わかりやすい紙面づくりに努めてまいります。ご意見等がございましたらお寄せください。

[栗原 文隆 記]